

# 平成28年度 建設業女性就業者座談会 (技術者・技能者)

主催：(一社)愛知県建設業協会・中部地方整備局・(株)建通新聞社

開催日時 平成29年2月8日(水) 10:00~12:40

開催場所 愛知建設業会館 3階会議室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

(一社)愛知県建設業協会 専務理事 山川 伸次

### 3. 座談会

出席者	大島造園土木(株)	村橋 敬子
	小原建設(株)	藤原 愛子
	関興業(株)	高橋 里枝
	中部土木(株)	小林 万希子
	(株)塚本鍛冶工業	松崎 緑
	徳倉建設(株)	宮本 祐里
司 会	(株)建通新聞社	滝 麻友

### 4. 講 評

中部地方整備局建政部 建設産業調整官 松居 孝道  
(一社)愛知県建設業協会 労務委員長 竹下 英司

### 5. 閉 会

#### 主催者出席者

(株)建通新聞社報道部 部長	澤田 久仁昭
(一社)愛知県建設業協会 事務局長	大西 克義
上 席	小笠原 保廣
上 席	石崎 政彦

# 愛知県建設業協会「建設業女性就業者座談会」

# 誰もが働きやすい業界へ

建設業界を女性が活躍できる業界にしようという動きが高まっている。将来の担い手の確保が大きな課題となっている建設業界にとって、女性の入職者を拡大する取り組みは、単に女性の数を増やすだけでなく、誰にとっても働きやすい職場になっていくことにつながる。愛知県建設業協会が開いた座談会で、建設業界で働く女性たちに建設業の魅力や課題を話し合ってもらった。彼女たちの話から、建設業界が誰にとっても働きやすい、魅力ある業界になるためのヒントが見えてきた。



司会 滝麻友  
(建通新聞社 中部支社報道部)



小林万希子さん  
(中部土木)  
入社約1年。土木施工管理。

小林 私も文系の卒業です。就職活動ではさまざまな業界の面接を受け、結果、ここに内定をいただいたので入社しました。施工管理課に配属され、現場に出向いて書類の準備をしていました。



平成28年度 建設業女性就業者座談会  
(一社)愛知県建設業協会・(中)中部地方整備局・(株)建通新聞社

高橋 私は大学で文学系で、建設業とは全く関係ありませんでした。大学で就職活動を始めたら、特にやりたいことが見つかりませんでした。私の家は水道関係の会社を自営しており、父の背中を身近に見て育ちました。重機を見て、うちへの仕事をしてみたいと思い、大学卒業後に建設の専門学校へ行きまし

司会 建設業を選んだ理由からお話しください。  
村橋 緑に関わる仕事、環境をよくする仕事をしたいと思っていて、結果的に緑を造る造園業に関わることになりました。入社して主に計画図面、提案書の作成をしてきました。自分が書いた図面の現場監督をすることもあります。



宮本 祐里さん  
(徳倉建設)  
入社約1年。建築設計部門。

## 建設業を選んだ

松崎 私は母から、「これからは女性も手に職があった方がいい」と言われ、建築の道を選びました。高校から建築に進み、大学も建築学科です。以前は20年近く住宅の現場監督をしていました。

## 松崎

## 半世紀以上残る仕事にやりがい

## 藤原 使い勝手に女性の目線生かせる

## 高橋 トイレ配置の工夫で使いやすく

## 仕事のやりがい

司会 実際に就職してどんなやりがいを感じていますか。またどんな仕事で印象に残っていますか。

松崎 子どもに「これママが造ったお家だね」と言われた時、とてもうれしくて、息子に恥じないものを造らなくてはならないと感じました。

小林 鉄道の仕事では、主に溶接部の中に欠陥がないか、超音波で調べる業務をしています。人が見えないものを見るというところに難しさややりがいを感じます。

高橋 指摘した部分で直ったときはとてもうれしいです。そしてそれが半世紀以上残っていくわけですね。やりがいと、また逆に責任も感じます。

藤原 積算の部署は残念ながら褒められることはあまりありません。8年間続けてきた中で、この部署のやりがいは何だろうと考えることもありますが、仕事が受注できて初めて利益が出る可能性があると思います。受注できることが私にとってのやりがいだと思っています。

高橋 河川工事の現場で、既存の橋を壊すところを初めて見ました。間近で衝撃的な場面を見て、感動も感じ、また、壊して新しいものを造るのだというところを感じて、すごいなと思いました。

司会 女性用トイレや更衣室など、女性の入職を促す取り組みが広がっています。より利用しやすいものには何が必要でしょうか。

村橋 私は仮設トイレは極力使いたくありません。個室が隣り合っていることに少し抵抗感があります。以前の現場では、男性用トイレの前を通らないうと女性用トイレに行けませんでした。動線も考慮して工夫してほしいと思います。設置時の配慮で改善できることなので、もう少し考えてもらえればと思います。

高橋 今の現場事務所ではトイレは完全に男女別で、女性用トイレはフルシートの入り口が直接見えなくて安心感があります。私の現場も男性用トイレの前を通らないと入れない配置なので、設置するときに考えればできるだろうと思います。

宮本 現場研修の際、トイレは男女別の仮設トイレでしたが、音が気になりました。自分が入る時は、時間を選んでいました。

小林 中部土木の関連会社はトイレカートのリースもしており、各現場に絶対的にトイレカーが設置されているので、困ったことはありません。音の問題も全く聞かないので、良いと思います。水洗トイレなので臭いも気になりません。

司会 働きやすい業界にするためには、就業環境の改善も欠かせません。会社のサポート体制はどうでしょうか。

宮本 土木の現場監督をしていた先輩社員で、産休後、子どもが小さい間は短時間で勤務の仕事をしていた方がいます。今後同じように対応してもらえたらいいと思います。特に不安はありません。先輩にそうだった方がいると、同じ立場になったときに相談もできるので心強いですね。

司会 女性用トイレや更衣室など、女性の入職を促す取り組みが広がっています。より利用しやすいものには何が必要でしょうか。

村橋 私は仮設トイレは極力使いたくありません。個室が隣り合っていることに少し抵抗感があります。以前の現場では、男性用トイレの前を通らないうと女性用トイレに行けませんでした。動線も考慮して工夫してほしいと思います。設置時の配慮で改善できることなので、もう少し考えてもらえればと思います。

## 女性である利点

司会 建設業界で働いていて、女性である利点が生かせると感じることはありますか。

松崎 住宅の現場監督は女性の方が向いていると思います。例えば、将来的に手摺りをつけられるようにしておこうとか、料理をしながら子どもが見えるようにカウンターを低めにしようとか、女性でしか気付けなかったことがあると思います。鉄道の仕事でも、細かいところに気がつくとか、女性の方がきちんとして仕事をしている印象です。

藤原 住宅だけでなく、私たちが造る事務所ビル、店舗などの建物は女性も使うものです。女性の目線で使い勝手やデザイン性を考え、それを生かしていくというところはもちろんあっていいはずですね。

小林 建設現場では、安全靴のサイズが小さいことが多々あります。女性の人職をアピールするには細かな気遣いも必要だと感じます。

松崎 確かにきつい仕事ですが、造ったものがそこに残るといことは自分の誇りと自信になると思います。「ものを造ることは楽しい」「人間の力ってすごい」といことをもっと伝えていきたいと思います。

藤原 女性は仕事に対する考え方や働く目的が男性に比べて幅広いんです。会社はそれぞれがどういう目的、思いで働いているかを個々に知ることがいいと思います。どこを目指して働いているかを知れば、時短で働くという選択もあるし、これをやってもいいかなというくらいな踏み込んでさまざまな選択肢を用意できます。また、私たち女性もどう思うかで仕事をしているかを積極的に会社に伝えていけば、もう少し働きやすくなるでしょう。

宮本 仕上がった建物はきれいですが、建設現場はきつい・汚い・危険の3Kのイメージが強く根付いています。技術者として実際に女性が働いている姿を見せる機会がたまにあつたらいかなと思います。実際に活躍している女性技術者を見て、自分も頑張りたいと思っただけの方が入社すれば長く続くと思えます。

司会 働きやすい業界にするためには、就業環境の改善も欠かせません。会社のサポート体制はどうでしょうか。

宮本 土木の現場監督をしていた先輩社員で、産休後、子どもが小さい間は短時間で勤務の仕事をしていた方がいます。今後同じように対応してもらえたらいいと思います。特に不安はありません。先輩にそうだった方がいると、同じ立場になったときに相談もできるので心強いですね。

司会 女性用トイレや更衣室など、女性の入職を促す取り組みが広がっています。より利用しやすいものには何が必要でしょうか。

村橋 私は仮設トイレは極力使いたくありません。個室が隣り合っていることに少し抵抗感があります。以前の現場では、男性用トイレの前を通らないうと女性用トイレに行けませんでした。動線も考慮して工夫してほしいと思います。設置時の配慮で改善できることなので、もう少し考えてもらえればと思います。

司会 女性用トイレや更衣室など、女性の入職を促す取り組みが広がっています。より利用しやすいものには何が必要でしょうか。

村橋 私は仮設トイレは極力使いたくありません。個室が隣り合っていることに少し抵抗感があります。以前の現場では、男性用トイレの前を通らないうと女性用トイレに行けませんでした。動線も考慮して工夫してほしいと思います。設置時の配慮で改善できることなので、もう少し考えてもらえればと思います。



藤原 愛子さん  
(小原建設)  
入社約9年。建築積算部門。



松崎 緑さん  
(塚本鍛冶工業)  
入社約1年(鉄骨検査業務経験約7年)。鉄骨構造検査部門。

## 現場環境の整備

司会 女性用トイレや更衣室など、女性の入職を促す取り組みが広がっています。より利用しやすいものには何が必要でしょうか。

村橋 私は仮設トイレは極力使いたくありません。個室が隣り合っていることに少し抵抗感があります。以前の現場では、男性用トイレの前を通らないうと女性用トイレに行けませんでした。動線も考慮して工夫してほしいと思います。設置時の配慮で改善できることなので、もう少し考えてもらえればと思います。

## サポート体制

司会 働きやすい業界にするためには、就業環境の改善も欠かせません。会社のサポート体制はどうでしょうか。

宮本 土木の現場監督をしていた先輩社員で、産休後、子どもが小さい間は短時間で勤務の仕事をしていた方がいます。今後同じように対応してもらえたらいいと思います。特に不安はありません。先輩にそうだった方がいると、同じ立場になったときに相談もできるので心強いですね。

## 女性入職の増加

司会 女性の数が増えれば解決することも多いと思います。どうしたら女性の入職者を増やせるでしょうか。

小林 私のように業界を絞ってなかった人を入職させてほしいです。文系だと建設業の会社に入らなくて、やることあるのかなと思ってしまうので、さまざまな業界が参加する企業説明会で、文系でも大丈夫だということも伝えたい方が多いかもしれません。

高橋 今の現場で仮囲いにフォトギャラリーを掲示しています。近くに高校があるのでも、建設業はこういうことをやっているというアピールで、ぜひとも伝えていきたいと思います。

松崎 確かにきつい仕事ですが、造ったものがそこに残るといことは自分の誇りと自信になると思います。「ものを造ることは楽しい」「人間の力ってすごい」といことをもっと伝えていきたいと思います。

藤原 女性は仕事に対する考え方や働く目的が男性に比べて幅広いんです。会社はそれぞれがどういう目的、思いで働いているかを個々に知ることがいいと思います。どこを目指して働いているかを知れば、時短で働くという選択もあるし、これをやってもいいかなというくらいな踏み込んでさまざまな選択肢を用意できます。また、私たち女性もどう思うかで仕事をしているかを積極的に会社に伝えていけば、もう少し働きやすくなるでしょう。

宮本 仕上がった建物はきれいですが、建設現場はきつい・汚い・危険の3Kのイメージが強く根付いています。技術者として実際に女性が働いている姿を見せる機会がたまにあつたらいかなと思います。実際に活躍している女性技術者を見て、自分も頑張りたいと思っただけの方が入社すれば長く続くと思えます。

司会 働きやすい業界にするためには、就業環境の改善も欠かせません。会社のサポート体制はどうでしょうか。

宮本 仕上がった建物はきれいですが、建設現場はきつい・汚い・危険の3Kのイメージが強く根付いています。技術者として実際に女性が働いている姿を見せる機会がたまにあつたらいかなと思います。実際に活躍している女性技術者を見て、自分も頑張りたいと思っただけの方が入社すれば長く続くと思えます。

司会 女性用トイレや更衣室など、女性の入職を促す取り組みが広がっています。より利用しやすいものには何が必要でしょうか。

村橋 私は仮設トイレは極力使いたくありません。個室が隣り合っていることに少し抵抗感があります。以前の現場では、男性用トイレの前を通らないうと女性用トイレに行けませんでした。動線も考慮して工夫してほしいと思います。設置時の配慮で改善できることなので、もう少し考えてもらえればと思います。

司会 女性用トイレや更衣室など、女性の入職を促す取り組みが広がっています。より利用しやすいものには何が必要でしょうか。

村橋 私は仮設トイレは極力使いたくありません。個室が隣り合っていることに少し抵抗感があります。以前の現場では、男性用トイレの前を通らないうと女性用トイレに行けませんでした。動線も考慮して工夫してほしいと思います。設置時の配慮で改善できることなので、もう少し考えてもらえればと思います。

村橋 続けるためには仕事の共有が鍵  
小林 文系でも大丈夫とアピールを  
宮本 女性が働く姿見せる機会設けて

# 建設業をさらに魅力ある産業に

一般社団法人愛知県建設業協会は、建設産業従事者の雇用改善、女性や若年者の入職促進・育成・定着活動など、建設産業のさらなる発展を目指した取り組みを進めています。

## 一般社団法人 愛知県建設業協会

会長 徳倉正晴 副会長 藤本和久 野田豊範 鈴木康仁 山田厚志 小原 睦 柏木博喜

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-28-21(愛知建設業会館内)  
TEL(052)242-4191 FAX(052)242-4194 http://www.aikenkyo.or.jp/

愛知県建設業協会は「建設共済保険」への加入を推進しています

### 〔法定外労災補償制度〕建設共済保険

厚生労働省・国土交通省認可

- 建設業界による自主的な共済保険で安価な保険料により、元請・下請を問わず無記名で補償します。
- 事業主(保険契約者)への速やかな支払いで企業の諸費用部分も補償し、元請・下請それぞれの保険契約者へ重複支払いも可能です。
- 愛知県建設業協会にて、パンフレット・申請書を取り扱っております。

お問い合わせ先 公益財団法人 建設業福祉共済団

〒1105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-15(虎ノ門NSビル) TEL(03)3591-8451